

# いわき農林水産ニュース

平成29年12月号(第154号) 発行 12月21日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



県オリジナル品種「ふくはる香」が  
一番美味しい季節です。

## 目次

- ・【特集】この一年を振り返って……………p.1
- ・家畜保健衛生所機能強化……………p.4
- 〔管内の各種取組みの実績(11～12月)〕……………p.5～
- 〔お知らせ〕
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果 p.10
- ・イベント情報……………p.11

## 〔連載記事〕

- ・GAP コーナー……………p.13
- ・6次化商品紹介……………p.13
- ・いわきの農産物マスコットキャラクター  
アグリ☆ファイブをご紹介します!……………p.14

## 【特集】

# いわき農林事務所の2017年を振り返って

～今年一年間のニュース内容から～

平成29年も残り10日となりました。今回は、今年一年間のいわき農林水産ニュースを振り返りながら、当所の重点施策の取組等を紹介したいと思います。

初めに、GAPの取組です。「ふくしま。GAP チャレンジ宣言」の発表後、5月号で特集として紹介して以来、「GAP コーナー」欄を設けて、毎月、情報提供等をしています。所内では農業振興普及部が事務局となり、所を挙げてGAP 推進会議・推進チームを設置したほか、いわき市、JA、市場関係者や流通事業者の方々に構成する「いわき地方GAP 推進協議会」を発足させて、県内一の認証取得を目指しております。既に5事業者の方々がJGAPを取得しており、推進チームが月1回の頻度で研修会や相談会を開催したり、希望された方への戸別訪問を行い、さらに11事業者の方へ年度内の申請を目指して積極的に支援しております。



いわき農林事務所長 森口康弘  
～全国植樹祭200日前PR～



(協議会構成員のみなさん)

7月には「ふくしま県GAP (FGAP) も創設されました。補助事業も活用できることから、生産者の方々にとって、GAPに取り組みやすい環境が整ってきました。今後、JGAPを取得している生産者の方々にも協力いただき、皆様のGAP取得を推進いたします。GAP取得のメリットである「安心・安全な農産物づくり」、「農作業の改善・効率化」等を皆様感じていただいて、「良い農林業生産」が続いていくよう支援してまいります。

次に、6月に特集しました「全国植樹祭」（平成30年6月10日に南相馬市で開催）及び「全国林業後継者大会」（同年6月9日にいわきアリオスで開催）です。担当部の森林林業部は、所内全ての部の職員による大会推進プロジェクトチームを立ち上げ、合同庁舎にポスターや垂幕設置、いわき駅前でのチラシ配布や駅構内へカウントダウンボード設置を行い、いわき地方振興局公式SNSで情報発信もしています。いわきでの全



（全国植樹祭開催日決定を笑顔でPR）

（→全国林業後継者大会ポスター）



国林業後継者大会では一般参

加も予定され、併せて隣接公園で市が「トマトフェス」を検討するなど、県民の皆様楽しんでいただけるよう企画を進めております。

いわき市は土地の7割が森林であり、森林林業部では関係者の方々とともに、間伐を主とした森林整備推進に取り組んでおり、平成29年度は前年度を上回る707haの間伐と21kmの路網整備を計画して事業を進めております。また、山菜等の出荷制限解除に向けても取り組んでおり、栽培わらびについて市内生産者6名の方々が国の定める条件を満たし、平成29年9月11日出荷制限を解除されました。来年の出荷再開に向けて、生産者の方々とともに出荷管理体制を整備してまいります。

続いて、「津波被災地のほ場整備」につきましては、3・10月号で市内3地区ではほ場整備が進み、平成30年春には1年前倒して約253ha全て営農再開が可能となることを紹介しました。更に、東日本大震災で地盤沈下した農地の排水不良を解消するため、常時排水ポンプの設置等が1年前倒して平成30年度に全基稼働開始の見込みになっています。



9月には、いわき地区の広域営農団地農道整備事業を実施した矢田工業(株)が県の優良工事として表彰されました

これらの工事を担当する当所農村整備部では、他にも市内北西部（小川町と四倉町間）の農業用道路建設も行っており、平成30年3月末の進捗率79.4%を予定し、平成32年度完成に向けて公共事業執行の進捗管理を徹底しております。今後も引き続き、工事・委託業務の進捗管理により適正な予算執行を進めてまいります。

8月号には、サンシャインいわき梨のベトナム輸出を特集しました。今年からの日本梨のベトナム輸出解禁を受けて、他産地に先駆けて生産者の方々やJA等の関係機関と連携して、現地の市場調査、園地の検疫対応・栽培管理指導、現地での販売プロモーション、SNSを活用した広報、輸送時の鮮度向上など、生産から流通、販売まで総合的な支援を行いました。



輸出用梨生産者から今年の生育状況について説明を受けました

結果として、8月に幸水3.4t、11月に新高1tの輸出が実現して、現地の評価も「甘い」「みずみずしい」など高く、「福島県産なし」のブランド力や出荷者の生産意欲の向上につながりました。来年も引き続き輸出の支援を行い、贈答用向けの大玉果実販売の対策等を検討いたします。



(ベトナムへの出発式)



(りんどう栽培指導会の様子)

次に花きですが、4月号でりんどう栽培指導会を紹介しました。「りんどう」は、平成28年度から新たに市内川前地区での産地形成で支援を行ってきたもので、今年度は、8月のお盆需要に合わせて17,000本を初出荷し、目標本数に対して約10%増となり市場からも高評価を得られました。これは、JA、いわき市等の関係機関と連携しての、品種特性の説明、市場への出荷計画の提供等も良い影響を与えたと考えております。来年度は定植から3年目で、収穫本数も今年の3倍増が見込まれており、いわき市の中山間地での新たな特産品となるよう、引き続き現地で生産者の方々へ援助を行ってまいります。

「地域産業6次化」に関しても商品など多数紹介しました。農作物等の生産だけでなく、加工や小売まで行う6次化を推進することは苦勞も伴うと考えますが、創り出そうとする事業者の方々的情熱と努力には頭の下がる思いです。今後とも、当所の「地域産業6次化ネットワーク交流会」(来年は2月初めに開催予定)等を活用いただくなど、各産業分野との連携や情報共有しながら、付加価値の向上、創造に取り組んでいただければと思います。今年度は当所企画部が関連事業として、いわき市の高校生を対象に、いわき産トマトを素材に「レシピコンテスト」を企画しており、いわきの特産品を使った新しいレシピの誕生を期待しております。

#### 平成29年度 6次化ネットワーク交流会

- 日 程：平成30年2月1日(木) 13:30~16:00(予定)
- 場 所：いわき合同庁舎 4階大会議室(定員120名)
- 次 第
 

1	パッケージ講習	外部講師
2	加工技術(瓶詰、缶詰)講習	外部講師
3	食品表示等講習	市保健所及び当所職員

最後に、当所のキャッチフレーズは「サンシャインいわき! 笑顔あふれる農林業をめざして!!」です。その意味は「<sup>さんざん</sup>燦々と降り注ぐいわきの太陽の光のように、農林業に携わるすべての人に、一日でも早く真の笑顔があふれるよう、所員が一丸となってスピード感と緊張感を持って目に見える成果を求めていく」ものです。常日頃からですが、例えば、突然の来訪時でも、職員に県民の皆様



へしっかり寄り添う気持ちを持って対応することをお願いしております。外部の方々から当所職員の対応についてお褒めの言葉をいただくこともあり、今後とも継続して欲しいと考えています。

関係者の皆様には大変お世話になりました。所員一同、日々精進の気持ちで頑張っておりますので、来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

(いわき農林事務所長)

平成30年2月1日開所

## いわき家畜保健衛生所は、中央家畜保健衛生所へ 統合してさらなる機能強化をします

### 1 県中・県南・いわき家畜保健衛生所統合について

近年の社会情勢の変化に対応した家畜保健衛生所(以下、「家保」と表記します。)の新たな役割として、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の海外悪性伝染病や人獣共通感染症等に対し、診断機能の強化や機動的な初動防疫対応等が求められています。そのため、家保のさらなる機能強化のため、県中・県南・いわき家保を統廃合し、石川郡玉川村に中央家保を新設することとなりました。

6カ所体制→4カ所体制



### 2 中央家畜保健衛生所新設に伴う機能強化

高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫など伝染力が強く地域社会に与える影響の強い疾病に対する防疫対応と人員体制の強化が課題となっていました。安全対策・監視課が新設され、職員数が約30名となりマンパワーが充実されます。

#### 中央家畜保健衛生所の組織体制

- (1) 衛生指導課
- (2) 防疫課
- (3) 病性鑑定課
- (4) 安全対策・監視課

新設

特定伝染病対応の司令塔

- ・各家保における防疫計画策定や農家指導のサポート
- ・疾病発生時における畜産課と地方対策本部の連絡調整

#### 【安全対策・監視課の設置】

高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の特定家畜伝染病の対応について、各家保の防疫計画の策定や農家指導のサポート、発生時の連絡調整などを行う役割を担います。特定家畜伝染病の対策に特化した部門が新設されたことにより、県内の防疫対策が強化されます。

(いわき家畜保健衛生所 TEL: 0246-23-3117 [平成30年1月31日まで])



中央家畜保健衛生所

平成29年10月2日竣工、30年2月1日開所



所在地: 福島県石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷 114-12

電話: 0247-57-6131 FAX: 0247-57-6144

(平成30年2月1日~)

## 福島県青年・女性漁業者交流大会

〔12月2日(土)〕

福島県青年・女性漁業者交流大会が小名浜魚市場大会議室で開催されました。本大会の目的は、県内の青年・女性漁業者が、日頃の研究活動や実践活動の成果を発表するとともに、広く研究討論を深めることによって、漁業技術の向上や地域の活性化に関する知識を研鑽し、活力ある沿岸漁業の形成と振興に寄与することです。

今年度は下記の3団体・2個人が本県漁業の復興を目指して取り組んだ活動と研究成果を発表しました。

厳正な審査の結果、最優秀賞はヒラメの付加価値を向上させるため「神経締め」の技術習得と実践活動に取り組んだ相双漁協鹿島地区青壮年部が受賞し、来年3月に東京都で開催される全国大会へ推薦されることとなりました。



(受賞された皆さん)

(水産事務所)

### 【発表課題名・研究グループ】

「逆境を踏み台にー相馬の漁業を担う若者の活動ー」

相双漁協相馬原釜地区青壮年部小型船部会

「震災後に漁業に従事して」

いわき市漁協四倉支所青壮年部所属(個人発表)

「とどめの1発!極上の一枚!おまえはもう、締まっている」

相双漁協鹿島地区青壮年部

「『来る勿かれ』から『来ておくれ』青壮年部活動を通じた地域おこし」

いわき市漁協青壮年部勿来支部

「これが私の生きる道ー元通りに魚が売れる日を目指してー」

相双漁協原釜地区所属(個人発表)

## 草野小学校「田んぼの学校 収穫祭」

〔11月11日(土)〕

いわき市立草野小学校と連携した「田んぼの学校」で、「収穫祭(成果発表と餅つき)」を開催しました。収穫祭は同校の公開授業と合わせて実施され、田んぼの学校に取組んだ5年生児童75名(草野小学校73名、福島県立聴覚支援学校平校2名)は成果発表と、収穫した「マンゲツモチ」で餅つきを行いました。成果発表では、この1年間で行った活動内容に加え、外国のお米やお米の種類などお米のことを児童独自に調べ、成果をまとめて班ごとに発表し、保護者の歓心を



(お米について調べたよ!)

得ていました。

その後実施された餅つきでは、地元農家・保護者の方々の協力を得ながら、児童たちは力いっぱい餅をつき、お昼には全校生徒で、雑煮やあんこ餅にして味わいました。杵はとても重く、児童たちは少々振り回され気味ながらも、元気に餅つきに取り組んでいました。「つきたてのお餅はおいしい」「餅つきは楽しかった」等の声もあがり、収穫祭を大いに楽しんでいる様子でした。

(農村整備部)



(初めての餅つき!)

## いわき地方「環境と共生する農業」推進研修会を開催〔11月30日(木)〕

いわき市中央台公民館にて、浜通り地方の生産者やJA職員、関係機関23名を対象に、エコファーマー認定の取組拡大を図るため、開催しました。

研修会では、会津よつば農業協同組合米穀部米穀課課長 赤城康浩氏から、「会津エコ米」の取り組みによるエコファーマー農産物のブランド化の講演、その後、三春町過足<sup>よぎあし</sup>ブルーベリー生産組合組合長の真壁稔氏から、エコファーマー集団認定の経緯から観光農園化への取組の講演をいただきました。参加者

は、エコファーマー認定による成功事例としてとても興味を持った様子で、エコマークの使用やエコファーマー取得による価格の動向などについて、多くの質問や意見が出されました。いわき農林事務所では、引き続き環境に共生する農業の普及拡大を推進してまいります。(農業振興普及部)



(意見交換の様子)

## 福島県青年農業士の研修会開催

〔11月16日(木)〕

いわき市を会場に開催され、株式会社ワンダーファーム(四倉町)と、坂本農園(山田町)を視察しました。県内各地から14名の青年農業士の皆さんが参加しました。

ワンダーファームでは、隣接するトマトハウスや直売所、農業広場などを見学し、担当の方から6次化の取組状況の説明を伺いました。参加者の多くは、大規模な施設園芸を見る機会があまりなかったことから非常に興味がある様子で、経営の内容や今後の事業方針などについて熱心に質問していました。



(坂本農園でのほ場見学)

坂本農園では、根菜類や西洋野菜の導入による市内レストラン等との取引事例や、地域の担い手として水稻受託作業を請け負うためのライスセンターや大型の農業機械を見学し、参加者からは規模拡大する際の参考にしたいとの声も聞かれました。(農業振興普及部)

## ふくしま食育実践サポーターによるクリスマス親子料理教室〔12月9日(土)〕

小島保育園でふくしま食育実践サポーターの木下麻美さん、荻野智代さんによるクリスマス料理教室が開催され、年長児親子及び保育士約36名が出席しました。

ピタパンにチキンと野菜をはさむ作業やデザートプレートのデコレーション・盛り付けなどを体験し、出来上がった料理を口いっぱい頬張っている姿や個性あふれるデザートプレートをお互いに見せ合う微笑ましい姿が見られました。



(ピタパン美味しくできたよ!)

参加者からは「簡単で美味しいので、さっそく家でも作ってみたい」「野菜を上手に取り入れるたくさんのアイデアをいただいた」等、多くの喜びの声をいただきました。当日のレシピは当所ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。(企画部)

## 「有害鳥獣被害防止対策モデル集落研修会」開催〔11月29日(水)〕

三和町渡戸高野多目的集会所において、モデル集落並びに集落ぐるみで電気柵を設置した地区の代表者を対象に、イノシシによる農作物被害防止対策の現地研修会を開催しました。

講師のファームエイジ株式会社の東氏から、イノシシの基本的な生態と正しい電気柵設置のポイントについて講演をいただきました。農林事務所からは、渡戸高野集落で2年間実施した「鳥獣被害防止対策モデル集落」における防除、捕獲、環境整備の取組を紹介しました。



(正しい電気柵の設置方法を確認)

現地ほ場では、モデル集落内に設置した電気柵のガイシの向きや、支柱への付け方、電線の高さ、注意掲示板の位置など、より高い防除効果を得るポイントを確認しました。参加者からは「すぐ集落に戻って電気柵を見直そう」との声が聞かれ、有意義な研修会となりました。(農業振興普及部)

## 農業青年クラブ連絡協議会のイノシシ対策研修会〔12月7日(木)・8日(金)〕

いわき農業青年クラブ連絡協議会は、茨城県桜川市で視察研修を行いました。同協議会では、クラブ員の経営能力や知識習得の向上を目的として、毎年1回、県内外で視察研修を実施しています。今年はクラブ員のほ場や近隣でイノシシ等による獣害が年々増えていることから、獣害対策に積極的に取り組んでいる茨城県桜川市の事例を研修しました。



(箱わなについて学ぶクラブ員)

当日は、茨城県農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの相田氏、池田氏から、「箱わな」や「くくりわな」を設置する際の注意点についての指導及び地域での鳥獣害対策の管理体制等についての講義を受けました。

クラブ員は「非常に充実した研修だった。アドバイザーから学んだことを地域に戻って生かしたい。」と、今後の鳥獣害対策に向けて熱心に研修を受けている様子でした。(農業振興普及部)

## いわき短期大学で特別講義を実施〔12月14日(木)〕

いわき短期大学より、将来、幼稚園・保育所等で指導する立場となる幼児教育科の学生のために、いわきの伝統野菜と放射線モニタリング状況についての講義依頼があり実施しました。

当日は、学生や教授等約100名が参加し、いわき市農業振興課 篠山係長・富岡主査からいわき市の伝統野菜に関する講義と伝統野菜を使ったクッキーの試食後、当所農業振興普及部 味戸課長から原発事故と福島県の農産物の安全性に関する講義を実施しました。



(いわき市農業振興課による講義  
上段右：篠山係長・富岡主査)

クイズも交えたわかりやすい講義となり、学生の皆さんは熱心に話を聞きレポートをまとめていました。

(企画部)

平成29年度Fターンインターンシップ推進事業に係る  
バスツアーで、筑波大学学生と意見交換を実施〔11月28・29日(火・水)〕

県内企業への理解を深め、関心を高めてもらい学生の職業意識を醸成するバスツアー（雇用労政課委託事業）が2日間にわたって開催され、筑波大学生物資源学類の2年生9名がいわき市等を訪れました。

一行は、当所やいわき地方振興局（行政からの復興状況）、(株)マルト（地元の小売業）、いわき市森林組合（森林整備の現地及び加工場）、丸三製紙(株)（南相馬市）を訪問し、現場見学と意見交換を実施しました。当所の森林林業部では、大震災からの復興や農林産物の安全安心の取組み、森林林業の再生、しいたけ原木の状況など幅広く意見交換を行いました。

現場の実際の話聞いた学生の皆さんは、「農林産物のモニタリングや森林再生への取組み等について、よく理解できた」などと話していました。今回の訪問者の中には福島県出身者はありませんでしたが、本県への積極的な就職をお待ちしております。（森林林業部）



〔意見交換の様子〕  
吉田副部長が説明

全国林業研究グループ連絡協議会による  
全国林業後継者大会会場視察〔12月6日(水)〕

来年6月9日(土)にいわき市で開催される「第47回全国林業後継者大会」を県、いわき市、県林業研究グループ連絡協議会と共に主催する全国林業研究グループ連絡協議会の会長はじめ役員5名が、いわき市を訪れました。

一行は、東日本大震災の復旧事業が終わった海岸防災林の状況や、大会会場となるいわき芸術文化交流館アリオスの現地視察を行うとともに、大会実行委員会事務局から式典やパネルディスカッションなどの実施計画の説明を受け、会長からは「全国からの参加者をお迎えできる立派な施設と計画であり、多くの人に来てもらいたい」との話がありました。今後、来年の開催時に十分なおもてなしができるよう準備を進めることとしております。

（森林林業部）



（大会実施計画の説明）

【参加のお願い】

「第47回全国林業後継者大会」は、一般参加者も受け入れる予定です。詳細情報を入手しましたら、皆様に速やかにお伝えしますので、参加もご検討ください。



第69回

全国植樹祭

ふくしま  
2018



育てよう  
希望の森を  
いのちの森を

平成30年6月10日開催!!



## ふれあい農園の収穫祭開催

〔12月2日(土)〕

いわき市高久公民館において、いわき農業青年クラブ連絡協議会の主催による「ふれあい農園収穫祭」が開催されました。

「ふれあい農園」は、一般市民を対象に野菜づくりを通じて農業への関心と理解を深めていただくため開設されており、収穫祭は年3回開催するイベントの最後の企画でした。

収穫祭当日は、参加者が収穫した野菜を持ち寄り、クラブ員とともに調理しました。出来あがった料理は、大根の甘酢漬け、白菜の浅漬け、春菊のおひたし、ヤーコンのきんぴら、



(できあがった料理)

豚汁などで、クラブ員が持ち寄った新米で作ったおにぎりとともに、その味を楽しみました。

また、参加者とクラブ員で、来年の栽培に向けた品種選定や植え付け適期について活発な意見交換を行いました。

現在、いわき農業青年クラブでは、ふれあい農園の参加者を募集していますので、興味のある方は、当事務所農業振興普及部（TEL：0246-24-6162）までご連絡ください。

(農業振興普及部)



(収穫祭の様子)

### トピック

## 株式会社大川原建設が平成29年度治山・林道コンクールで農林水産大臣賞を受賞！

日本林道協会主催の第33回民有林林道工事コンクールで、川前町の(株)大川原建設 代表取締役大川原政昭さんが農林水産大臣賞を受賞し、11月30日(木)に東京都内のホテルで開催された表彰式で賞状と記念品を贈られました。受賞の対象工事は、平成27年度森林居住環境(県・道)2702工事「永井川前線」で、平成29年度福島県優良建設工事表彰(林道部門)も受賞しており今回の受賞と併せてダブル受賞となりました。



〔 森林居住環境(県・道)  
2702工事 〕

民有林林道工事コンクールは、工事技術の向上を図り林道事業の発展に資することを目的として毎年行われており、農林水産大臣賞は全国で2者が選定されています。林道永井川前線は、幅員4~5m、全体計画延長7,450mで三和町と川前町を結ぶ骨格的な林道として平成16年度から工事に着手しており、効率的な森林施業と適正な森林整備の促進を図るほか、主要地方道小野四倉線と国道49号線を結ぶルート確立や災害時の迂回路等を目的として平成34年頃の完成を予定しています。



(表彰される大川原さん)

# お知らせ

## いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（平成29年11月分）

### □ 農林畜産物の検査結果

平成29年11月の農林畜産物モニタリングでは、検査した9品目22検体すべてにおいて放射性セシウムは基準値（100Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

内訳は（表1）のとおりです。また出荷制限状況は（表2）のとおりです。（企画部）

（表1）放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

ユズ 2、菌床しいたけ(施設) 5、菌床なめこ(施設) 2、エリンギ(施設) 1、菌床うすひらたけ(施設) 1、大豆 3、牛肉 3、豚肉 1、原乳 4
---

（表2）出荷制限および出荷自粛品目（11月末現在）

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、わらび、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ（摂取も制限）
出荷自粛	山菜	さんしょう（野生のものに限る）
	果物	クリ（該当生産者に限る）

### □ 海産魚介類の検査結果

平成29年11月の水産物モニタリング検査では、801検体の魚介類を検査し、放射性セシウムの基準値（100Bq/kg）を超えたものではありませんでした。

放射性セシウムの検出限界値未満（以下、ND）の割合は、平成29年11月には98.0%となっています。11月30日現在の出荷制限等指示魚種は（表）の10種類になっています。

（水産事務所）

（表）海産魚介類に関する国の出荷制限等指示

ウミタナゴ	サクラマス	ムラソイ
カサゴ	シロメバル	ピノスガイ
キツネメバル	スズキ	
クロダイ	ヌマガレイ	

平成29年11月30日現在

## 試験操業の現状

### □ アオノリ試験操業計画の承認について

11月29日に開催された県下漁業協同組合長会議において、相双地区のアオノリ試験操業計画が承認され、震災以来6年ぶりに相馬市松川浦のアオノリ養殖業が再開されることとなりました。アオノリの収穫は来年2～4月で、生ノリ又は、乾燥されたバラ干しノリで出荷されます。

なお、アオノリ試験操業計画の承認により、県内で実施される試験操業は18漁業種類に拡大しました。

（水産事務所）

（表）地区別試験操業計画一覧

漁業種類	試験操業計画名称	地区別実施状況		漁業種類	試験操業計画名称	地区別実施状況	
		相双	いわき			相双	いわき
底びき網	底びき網漁業	○	○	どう	どう漁業	○	-
船びき網	機船船びき網漁業(しらうお等)	○	○	採貝	あわび漁業	○	○
	機船船びき網漁業(さより)	-	○		うに漁業	○	○
固定式さし網	固定式さし網漁業	○	○	貝けた網	ホッキ貝桁網漁業	○	○
流し網	マイワシ等 流し網	○	-	はえ縄	たらはえ縄漁業	-	○
	サワラ等 流し網	○	-		はえ縄漁業(たはえ縄除く)	○	○
かご	沖合タコカゴ	○	-	釣り	釣り漁業	○	○
	かご漁業	○	○	養殖	あさり養殖業	○	△
	はもかご漁業	○	-		のり養殖業	○	△
				合計		16	11

## イベント情報

### いわき「冬のギフトフェア」開催中！

- 開催期間：平成29年12月1日（金）～平成30年1月8日（月・祝）
- 開催場所：いわき市石炭・化石館「ほるる」内 ミュージアムショップ特設コーナー
- お問い合わせ先：いわき市石炭・化石館「ほるる」  
TEL：0246-42-3155 HP：http://www.sekitankasekikan.or.jp/

いわき市石炭・化石館「ほるる」のミュージアムショップでは、いわきの美味しい産品が大集合した「冬のギフトフェア」が開催されています。

「常盤もの」をはじめとした海産物のほか、新米のいわき産コシヒカリ「Iwaki Laiki」と農産加工品の各種セット、いわきの地酒やワインなど、厳選した様々な産品が勢ぞろい。

お世話になった方にいわきらしい冬ギフトをお送りしてみたいかたがでしょうか？



### 「第1回 高校生レシピコンテスト」 アイデアレシピ募集中！！

いわき市内の高校生を対象に、いわきの農産物を使ったレシピコンテストを実施します！

- 応募締切：平成30年1月9日（火） 必着

今回のテーマは「いわき産トマト」です。  
料理部門・スイーツ部門の2部門で、1月12日（金）に1次選考（書類）を、1月21日（日）に2次選考（実食）を実施します。

各部門の受賞作品は、ワンダーファーム「森のキッチン」などのレストランメニューに採用されます。  
市内の高校生の皆さん、たくさんのご応募お待ちしております！

#### ○応募方法

サイトから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入及び作品写真を添付の上、郵送又はメールにてご応募ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>

#### ○応募先&お問合せ先

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地  
福島県いわき農林事務所内「第1回 高校生レシピコンテスト」係

Mail：kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp  
TEL：080-5738-1433（株）福島インフォメーションリサーチ&マネジメント

## 農業者を対象とした各種セミナーを開催します！

### (1) サンシャインフラワーセミナー

いわき市又は浜通り地方の農業者、関係機関・団体、農業参入希望企業等を対象に、トルコギキョウ、りんどう、宿根かすみ草の技術や産地育成に関する講演等を実施します。

- 日 時：平成30年2月 9日（金）13：30～17：00（講演会）  
平成30年2月10日（土） 8：30～12：00（現地視察）
- 場 所：いわき市中央台公民館大会議室及び現地

### (2) ステップアップ講座経営セミナー

新規就農者、認定農業者等を対象に、農業における税務についての講義を実施します。

- 日 時：平成30年1月30日（火）13：00～
- 場 所：いわき市中央公民館大会議室1

お問い合わせ先

いわき農林事務所  
農業振興普及部 経営支援課  
TEL：0246-24-6161

## レポート

### 大規模経営・生産管理習得研修報告 農業振興普及部経営支援課 技師 渡邊仁司

農業法人の株式会社早坂園芸（千葉県南房総市）で、平成29年6月27日からの2週間と、1月28日からの2週間、計1ヶ月間をかけて、現場実習による研修を行いました。

株式会社早坂園芸は、6haを超える農地で、露地栽培と施設栽培を組み合わせながら、経営の中心である切り花類だけで周年生産を実現しています。また、米や野菜などの生産に加え、直売や加工品の販売等にも取り組んでいます。

実習では、夏季にヒマワリとハーブ類、冬季にランキュラス、キンギョソウの収穫、箱詰めなど、関連する一連の作業を行いました。また、専務から経営に関する考え方なども伺いました。

研修により、雇用費を安定的に確保するための販売戦略や、周年で仕事を維持するための生産計画、従業員の班分けと分業による作業の効率化などを学びました。これらを花きの生産現場や農業法人の育成支援などの場面で活用し、本県の農業振興に役立ててまいります。



(研修先オリジナルの球状結束したひまわり)



(切り花用ハーブの包装作業)



(研修中にデビューした上向きひまわりのほ場)



(朝に収穫したランキュラス)

### 第三者認証GAPの認証制度について

福島県では、安全な農産物であることを消費者・流通業者に証明し、信頼される産地づくりを目的として、第三者認証GAPの取得を推進しています。「第三者認証」とは、農産物が生産から消費者に提供されるまでの間に関与しない外部（第三者）の機関から審査を受け、GAPの取組内容について認められることです。日本では特にGLOBAL G.A.P.、ASIAGAP、JGAPが普及しており、平成29年7月11日には、福島県独自の第三者認証制度「ふくしま県GAP（通称：FGAP）」が施行されました。主な違いは（表）のとおりです。

（表）第三者認証 GAP の認証制度の違い

	GLOBAL G.A.P	ASIAGAP	JGAP	FGAP
審査費用	約40万円 ※1	約10万円 ※1	約10万円 ※1	無料 ※2
審査に必要な 記帳記録	3ヶ月間	3ヶ月間	3ヶ月間	2ヶ月間
特色	国際取引に関する基準が規定	GFSI承認による JGAP国際化を目指したGAP	日本独自の第三者認証制度	放射性物質対策の基準が規定

※1 審査員の旅費・宿泊費は別途です。維持・更新審査として毎年出費となります。

※2 維持・更新審査費用も無料となります。

☆当所では、GAP 取組支援や経費の補助を行っています。不明な点がありましたら下記にご連絡ください。

……お問い合わせ先……  
いわき農林事務所  
農業振興普及部 経営支援課  
TEL：0246-24-6161

### お知らせ 平成30年1月10日（水）13：30から JAいわき地区本部で GAP 研修会・相談会を開催します。

第三者認証 GAP の団体認証の事例紹介、水稻の GAP 取得のための取組事例をご説明します。その後は、GAP 認証に向けて普及指導員との個別相談会を行います。参加を希望される方は当所農業振興普及部（TEL：0246-24-6161）まで是非ご連絡ください。

### 「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」に掲載された 6次化商品をご紹介します！

日本初の「フェイジョア」栽培農家「楽・農・人 ゆうゆうファーム」の6次化商品をご紹介します。他のフルーツには無い甘い香りとほどよい酸味が特徴の「フェイジョア」は、まろやかな果肉を皮ごと美味しく食べられる魅力的な南国フルーツです。「フェイジョアのきんつぽ」は、白あんに無農薬で育てたフェイジョアの果肉を練り込んでおり、独特の香りやつぶつぶとした食感を楽しめます。ジャムやパウンドケーキ等の加工品も販売しており、新鮮やさい館谷川瀬店、ファーマーズマーケットいがっぺ、草木台田舎んぼ等の農産物直売所のほか、ネット販売でもお買い求めいただけます。また、電話やFAXでもご注文を受け付けますので、お気軽にお問い合わせください。



代表 丸山さん



フェイジョアの  
きんつぽ

内容量 / 6個  
販売価格 / 900円  
(税込)



フェイジョアの果実のジャム、花びらのジャム、生ドーナツやパウンドケーキと種類豊富。併せて栽培しているイチジク、ブルーベリー、ブラックベリーを使ったジャムやケーキもおすすめです。

ぜひおすすめです！

お問い合わせ

楽・農・人 ゆうゆうファーム ●Web : <http://www.feijoa-dream.com>

●いわき市小川町塩田字堀口10-1 ●TEL&FAX.0246-83-3110 ●mail : [info@feijoa-dream.com](mailto:info@feijoa-dream.com)

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」は「ふくしま6次化情報STATION(<http://6jika.com/>)」に掲載されていますので、是非ご覧下さい。

いわきの農産物マスコットキャラクター

アグリ☆ファイブ のメンバーをご紹介します！

当ニュースにも何度か登場しているマスコットキャラクター、アグリ☆ファイブをご紹介します！いわきの農産物の魅力を伝えるため、様々なイベントで活躍しています。みなさんも、市内のイベント等に参加して、メンバー全員と会ってみてください。



**なしポチ** だっペア！  
性格：がんばりや  
好きな季節：秋  
PR：シャリッと歯ごたえ、とっても甘くていいにおいだっペア。



**さる1号** だキー！  
性格：あわてんぼ  
好きな季節：冬から春がスッキー！  
PR：真っ赤なお顔がかわいい人気者だキー！



**トマにゃん** だニャ！  
性格：いたずらっこ  
好きな季節：夏、でも秋も好きだし冬もわりと好きだニャ。  
PR：バランスは世界ー！酸いも甘いもばっちりニャ。



**ネギびよん** ですネ！  
性格：才色兼備  
好きな季節：秋と冬ネ。  
PR：つややかな色白美人ネ。ほんのり甘いですネ。



**くまんま** だまい！  
性格：のんびりや  
好きな季節：それは秋だまい。  
PR：みんなをささえる力持ち。炊きたてふっくら、旨みもたっぷり、一つ一つが輝く粒。

☆今後の活動予定☆

「第3回 いわき Park de Kitchen」に、

「さる1号」が遊びに来ます！

■日 時：平成30年1月14日（日）  
10：00～

■場 所：平中央公園（いわきアリオス前）

よろしくね☆



☆お問い合わせ☆

いわき市 農業振興課 園芸振興係  
(TEL：0246-22-7479)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。  
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地  
(県いわき合同庁舎 3階)  
T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196  
U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース